

第96号
平成29年
1月号

HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試して下さい。

山田整骨院
熊本市中央区出水 4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故, 山田整骨院

<http://www/jiko-kumamoto.net/>

宿便(その2—乳児の胎便)

尾藤 章 著 宿便と潜在意識と (昭和58年発行)

私の外孫二人の事

私の三男の二男は生まれた時、大変弱かった孫です。自宅で産婆さんに来ていただいてお産したのですが、産声も極めて小さく、その後、お乳の飲む力も無く、泣きもせず、お乳も飲まずでした。小児科の先生にも二回も診ていただき、産婆さんは毎日の様に見に来てくれますが、どういたしようもなかったのです。

生まれて一週間目の日、思いついてローブリー式裸療法をやりましたところ

「オギャー」

と泣きだしたのです。「とうてい助かるまい」と半ばあきらめていた子が、助かったのです。それから乳を飲み始めて、順調に生育いたしました。母胎の水の世界から出生して、空気の世界に出た時、裸でおく時間が短かった事が原因であったと思います。西式分娩法の必要性を痛感致しました。

この子が成長し、今国立金沢大学の大学院の四年生になろうとしております。私共夫婦には十八人の孫がありますが、その中では学校の成績が一番良いようです。出生の時、一週間、乳が飲めなかった。つまり一週間、断食した事になります。そのためにあるいは胎便が良く排出されて、宿便が無いのか、有っても極く少ないのではないかと思います。生れた時弱くて一番心配した子が、現在では朗らかに成長しております。

次は五男の長男の事です、当時、五男夫婦は東京で生活しておりましたが、出産の時は郷里の静岡に來まして、日赤病院でお世話になりました。男の児でしたが、十日間ばかりで、赤ん坊を抱えて東京に帰りました。生れたのは十月、それから半年たち、翌春四月に私は孫の顔を見に東京に行ったのです。孫の顔を見まして、思わず、

「まずい子だなあ、この子は駄目だよ。弱いか、頭が悪いか、どの道ものにならん子だ」

と言ってしまったのです。嫁の顔色はみるみる蒼白になり、手先もブルブル震え出しました。

「お父さん、この子のどこが悪いの」

泣きそうな顔で漸く質問しました。

「うん。生れた時、たくさん出るべき胎便が、少ししか出ていないのだ」

暫くたってから、

「一体、どうしたらよいの」

「やってみねば分らないが、とにかく、四日間、断食させてみるんだなあ」

と、申しました。半年ぶりに上京して、孫の顔を見て、そして上野の桜も見て、五男と一杯飲むつもりで出かけたのですが、とんでもない事になってしまいました。五男夫婦は物も言いませんので、私は帰って来てしまいました。

私が帰ったあと、一週間くらい夫婦は毎日のように喧嘩したらしく、

「静岡の父の言う通り、断食させろ」

「そんな事、絶対出来ないわ」

そこでとうとう妻が負けて、

「そんなに言うなら、坊やに乳を吞ませないなら、私も四日間、断食するわ」

「それはちょうどよい。お前の頭も少しは良くなるだろう」

「あなたの御飯、炊いてやらないよ」

「それでよい」

遂に四日間、断食させたのです。お乳の代りに生水にスイマグ（緩下剤）を薄めて飲ませます。うまくないので、初めはあまり飲まないが腹が減ってくると、しかたなしに飲みます。四日間断食させたら、火がついたように大声で泣くかと思うが、赤ん坊も腹が減っては、そう泣くものではありません。断食四日目の夕方、真黒いものすごく粘着力の強い胎便が相当たくさん出たのです。

「あなた、出ましたよ。出ましたよ。静岡の父の言った真黒い便が」

夜になって、夫が会社から戻ると、妻は大声で報告しました。

「それは、良かったなあ。どうだ。浣腸してみたら」と云う事で、イチジク浣腸を買って来て、浣腸したところ、また相当たくさん排泄したのです。一人一人個人差がありますから、誰でもそうとは行かないでしょうが、生れて半年以内なら、四日間の断食でこういう効果がある事が分かりました。

産婦人科医院では、西式分娩法、つまり、一時間四十分間、裸でおく事は、なかなかやってくれませんのでそういった場合は、生れて半年以内の子なら大きい効果があると思います。現代人は例え五十日、六十日断食しましても宿便の一扫は困難です。

私の五男の長男は、今は学校を卒業、社会に出て働いており健康体の持ち主です。

「この子は駄目な子だ」と言った私の言葉は何千万円でも買えない貴重なものをプレゼントした事になりました。

解 説

初めのお孫さんの件はあきらめていたとの事で重篤だったようです。それでローブリー式裸療法をやって助かったとの話でした。裸療法は別名風浴、大気浴と云い裸になって冷たい空気に体をさらしたり、暖かい毛布にくるまったり交互に合計 30 分行います。（具体的な方法はお問合せ下さい）目的は血管を刺激し収縮、拡張させて血液循環の促進、皮膚呼吸を活発にして老廃物の排出、新鮮な酸素の吸収、温冷刺激による体液の酸とアルカリの調整、交感神経と副交感神経を刺激して自律神経の調整です。つまり普通はお医者さんが種々の薬を投与して体調を整えることをこの療法だけでやってしまうということです。軽い風邪であればこれだけで治ります。西式健康法を用いて治療する久留米の愛康内科や東京の渡辺医院では、入院患者さんが毎日最低 4 回は行う必須の療法です。私の父が脳いっ血で愛康内科に入院した折には 1 月の初旬で寒い頃でしたが、窓を全開にして行っていました。そのおかげで出なかった言葉が 1 ヶ月で出るようになり、肌がピカピカとなり硬直していた体が柔軟となりました。

次のお孫さんは「弱いか、頭が悪いか、どの道ものにならん」だったとのことでした。それが 4 日間断食して胎便が出て一人前の人間になった話でした。ポイント 1 は、分娩法が拙くて胎便が出なかった。2 は半年後でも断食をすれば胎便が出るということ。3 は西式では分娩後 1 時間 40 分裸でおけば元気な子になるということです。これは胎児は羊水の中にいる水生動物状態であり、分娩されると陸生動物になり、すぐ産湯を使うと混乱して卵円孔開存を生じるので、裸にしておくということです。胎便とは赤ちゃんがお母さんのお腹の中にある間に貯めこんだ宿便のことで、分娩時に出せば、つまり毒素が体外に出て心身共に健康になるということです。患者さんのご好意により山田整骨院だより平成 27 年 9 月号に胎便の写真が載っています。ネバネバした真黒の便です。大人でも脳卒中、肝臓病など難病の場合断食をすると宿便が出て治って健康になる人がたくさんいます。又、断食をして宿便を出して頭脳明晰になった例は少なくありません。

結論として、現在病気がちの子、賢くない子、元気のない子は胎便が出ていないということになります。親御さんや祖父母の方々が元気な子になってほしいと思うなら、断食や生野菜食療法、又はスイマグで宿便を出す方法がありますのでチャレンジしてみたらどうでしょうか。人生は一度しかありません。元気な人生を過ごさせてやりたいものです。